

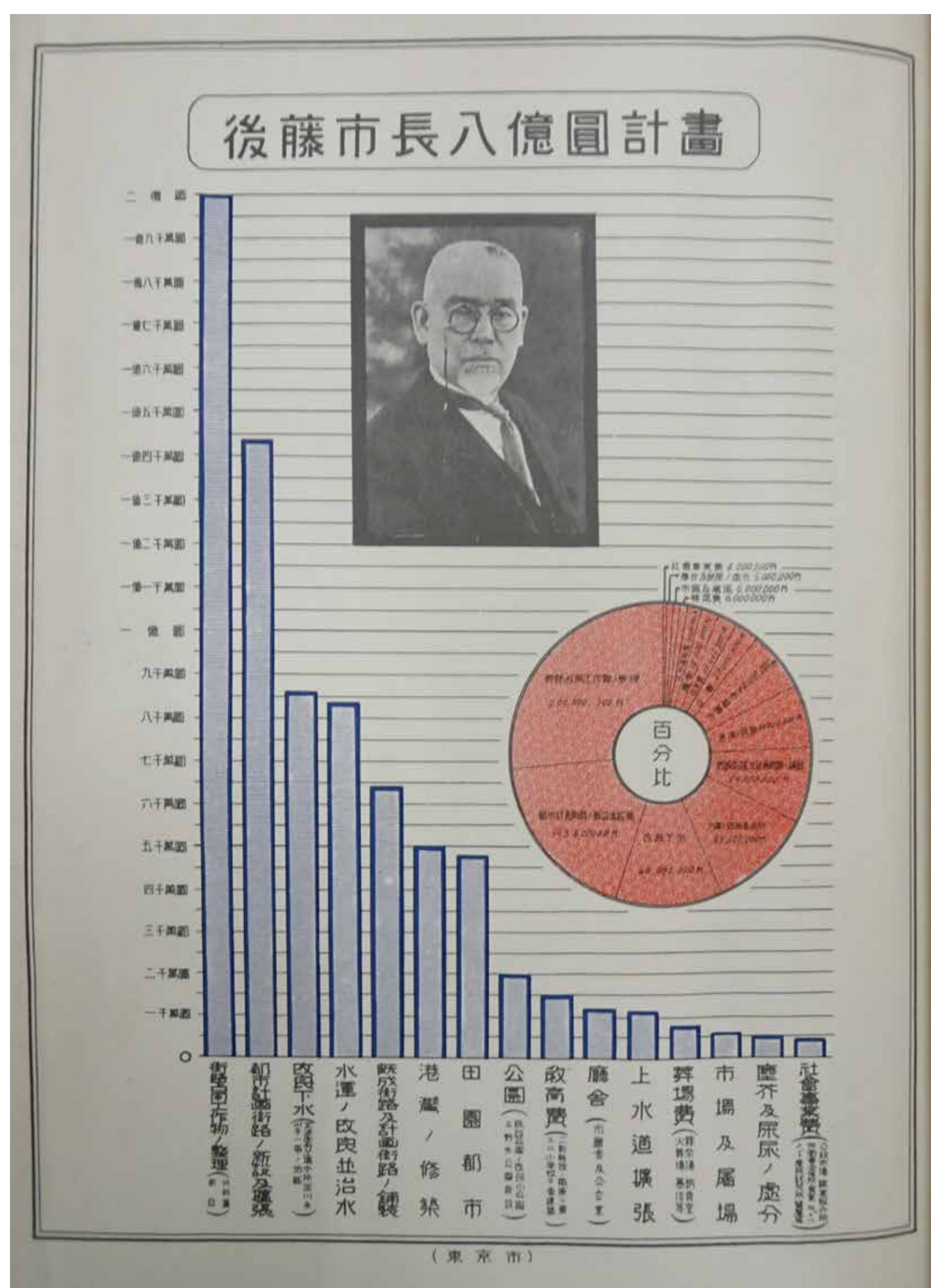
第7代東京市長 後藤新平

— 東京市の自治と震災復興に尽くす

大正9年(1920)12月、後藤新平は第7代東京市長に就任しました。後藤は、市における執行機関と議決機関の正常化、東京市政調査会の設立、吏員講習所(職員研修所)の設立など市政の近代化を図りました。

また、市長在任中に「八億円計画」と呼ばれた市政の計画案を策定しましたが、実現には至りませんでした。しかし、大正12年(1923年)9月1日の関東大震災後の復興に際しては、その計画を活かすこととなります。後藤は内務大臣及び帝都復興院総裁として帝都復興に尽力しました。

なお、東京都公文書館には東京府知事・東京市長歴代の肖像画・肖像写真が所蔵されています。



『帝都復興事業大観』上巻
(日本統計普及会、昭和5年3月)

第7代東京市長 後藤新平